

令和7年2月7日開催 国民健康保険運営協議会での質疑について

問い 75歳以上の人間ドックを実施していないのは。

答え 人間ドックの目的は、普段医療にかかっていない方を対象として、総合的な検査を行い、気が付かないうちにかかっているかも知れない病気を早期に発見し、早期治療につなげることです。

75歳以上の方は、日頃から「かかりつけ医」によって全身管理されている方が多く、人間ドックのような総合的な検査ではなく、もし、気になるということであれば、鳥取県後期高齢者医療制度の「健康診査」や町が実施している「がん検診」を受けていただければと考えています。

(参考)

保険者として岩美町は、74歳までの国民健康保険被保険者の検診を行い、75歳以上の方は鳥取県後期高齢者医療広域連合会が行うこととなっています。

がん検診の国の推奨年齢の上限は69歳とされていますが、東部の市町では、いずれも74歳までの方を対象として実施しております。また、岩美町では国民健康保険被保険者の方だけでなく、医療保険、事業所等のドック事業を利用できない方も対象としています。

問い 滞納のため10割負担で医療機関にかかった人(特別療養費の支給対象者)に7割(自己負担3割の方の場合)を返すとき、滞納している保険税に充当することを拒否されたら、7割は返さないか。

答え 特別療養費につきましては、事前告知を行う段階で、国保税を納付していただけるように十分な話し合いを行います。

それでも特別療養費を支給することになった場合、申請することで保険給付費分が支給されますが、支給額は原則、未納の保険税に充当されます。

問い 糖尿病は、日本全体では男性が多いのか。

答え 厚生労働省の令和4年の調査では、「糖尿病が強く疑われる者」の割合は、男性18.1%、女性9.1%であり、男性の方が多くなっています。